SAP Concur リリース ノート **Concur Expense (Professional / Premium)**	
月	**対象**
リリース日: 2020 年 7 月 18 日 英語版の投稿: 7 月 17 日金曜日 11:00 AM 太平洋時間	SAP Concur をお使いのお客様 **最終版**

コンテンツ

リリース ノート 1

認証 1

** 進行中 ** Director SAML サービスの廃止と SAML v2 への移行 1

** 進行中 ** HMAC の廃止、SAML v2 および SSO セルフサービスツ ールへの移行 3

ファイル転送のアップデート 6

** 進行中 ** SAP Concur 従来のファイル移動の移行 6

イメージング 7

Imaging XML API エラー更新 7

リスト インポート 8

リスト インポートの開始日と終了日が保存されなくなります 8

その他 9

SAMLv2 SSO 証明書の有効期限切れ（6 月 25 日） 9

更新: 一部の TLSv1.2 暗号が非サポートに（6 月 22 日） 10

新 UI 10

** 進行中 ** Concur Expense エンド ユーザー向けの最新のユーザー インターフェース (UI) .. 10

今後の変更予定 14

財務統合 14

** 変更予定 ** SAP 統合と Concur ソリューション（ICS）の差分転記の追加..... 14

お客様へのお知らせ 16

ブラウザの認証および推奨環境.....16

月次情報 - ブラウザの認証および推奨環境 16

リリース ノートおよびその他の技術文書 17

オンライン ヘルプ - 管理者 17

Concur サポート ポータル - – 指定されたユーザー 17

ケース 19

サポート ケース ステータスの確認 19

例..... 20

法的免責事項

この提示物の内容は、SAP SE または SAP の関連会社の機密の専有情報であり、SAP SE またはそれぞれの SAP の関連会社の許可なく開示することはできません。この提示物は、SAP SE またはその関連会社とのライセンス契約またはその他何らかのサービス契約やサブスクリプション契約に拘束されることはありません。SAP SE およびその関連会社は、このドキュメントまたは関連の提示物に記載される業務を遂行する、またはそこに記述される機能を開発もしくはリリースする義務を負いません。このドキュメント、または関連の提示物、および SAP SE または SAP の関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、またはプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE およびその関連会社により随時、理由の如何を問わずに予告なしで変更される場合があります。このドキュメントに記載する情報は、何らかの具体物、コード、または機能を提供するという確約、約束、または法的義務には当たりません。このドキュメントは、商業性、特定目的への適合性、または非侵害性の黙示的保証を含めて、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証をも伴うものではありません。このドキュメントは情報提供のみを目的としており、契約に取り入れられることはありません。SAP SE およびその関連会社は、SAP SE または SAP の関連会社の意図的な不当行為または重大な過失に起因する損害を除き、このドキュメントの誤記または脱落について一切の責任を負わないものとします。

将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

リリース ノート

認証

** 進行中 ** Director SAML サービスの廃止と SAML v2 への移行

情報の初回公開日	最終更新日	機能のリリース予定日
2020 年 7 月 10 日	--	2020 年 7 月 ～ 12 月
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。		

この変更は、安全な認証を維持する SAP Concur の継続的な取り組みの一環です。

概要

Director SAML サービスのサポートは廃止されました。出張管理会社（TMC）と SAP Concur の担当者は、現在 SAP Concur SAML v2 SSO（SAML v2）への移行に Director SAML を使用しているお客様へのサポートを直ちに開始します。

現在 Director SAML をお使いのお客様は、できるだけ早く SAML V2 に移行することをお勧めします。

Director SAML サービスのサポートの廃止は、次の要件に依存します。

- SAP Concur の技術者と TMC は、既存の SAP Concur をお使いのお客様が Director SAML サービスから SAML V2 に移行するのを支援します。
- 現在 Director SAML サービスを使用しているすべてのお客様は、Director SAML から SAML V2 に移行しています。

Director SAML から SAML V2 への移行には、次の一般的な手順を行う必要があります。

- お客様は、SSO 管理者として機能する管理者を識別し、適切な権限 / ロールを割り当てます。

- SSO 管理者は、SAP Concur の技術者と連携して、SAP Concur SP メタデータを取得します。
- SSO 管理者は、SP メタデータからの情報に基づいて IdP で SSO 設定を行います。
- SSO 管理者は IdP から IdP メタデータを取得し、メタデータを SAP Concur の技術者に提供します。
- SSO 管理者は、テスト ユーザーを数人追加し、新しい SSO 接続をテストします。
- テストが成功すると、会社は SAP Concur ユーザーに SSO を展開します。

📖 SAML v2 への移行の詳細については、「SSO Service: Overview Guide」、加えて「Shared: SSO Management Setup Guide」をご参照ください。

業務目的とユーザーへの利点

この変更により、SAP Concur の製品およびサービスにログインするユーザーに強化されたセキュリティおよび改善されたサポートを提供します。

設定とアクティブ化

TMC の移行

TMC はこの変更によって大きな影響を受けるため、SAML V2 への移行に備えて今すぐテストを開始する必要があります。

TMC は、新規のお客様に対して、Director SAML ではな く SAML v2 を設定する必要があります。SAML v2 を設定すると、TMC が新しい設定をテストし、内部スタッフをトレーニングしてお客様を支援する時間をさらに確保できます。

Director SAML の廃止に伴う準備:

- TMC は SAML 2.0 準拠の SSO をサポートする必要があります。TMC は SAML 2.0 準拠のソリューションを契約または開発する必要があります。TMC にはアイデンティティプロバイダ（IdP）が必要です。

- SAML 2.0 準拠の SSO のサポートが完了した後に、さらに情報が必要な TMC は SAP Concur サポートに支援を依頼できます。TMC は、設定の依頼の際にオンライン注文フォームを使用する必要はありません。

従来の DIRECTOR SAML をお使いのお客様の移行

お客様は、移行の準備のためにすぐに SAML v2 のテストを開始する必要があります。

Director SAML の廃止に伴う準備:

- お客様には、アイデンティティ プロバイダ（IdP）またはカスタム SAML 2.0 準拠のソリューションが必要です。
- お客様は SAP Concur 技術者と調整して、SAML v2 への移行を完了する必要があります。

📖 詳しくは、「SSO Service: Overview Guide」および「Shared: SSO Management Setup Guide」をご参照ください。

** 進行中 ** HMAC の廃止、SAML v2 および SSO セルフサービスツ ールへの移行

情報の初回公開日	最終更新日	機能のリリース予定日
2019 年 7 月 12 日	2020 年 7 月 17 日	フェーズ I: 2020 年 7 月 フェーズ II: 2021 年 7 月
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。		

この変更は、安全な認証を維持する SAP Concur の継続的な取り組みの一環です。

概要

ハッシュベースのメッセージ認証コード（HMAC）の SAP Concur サポートは廃止されます。現在、出張管理会社（TMC）と SAP Concur の担当者は、HMAC を使用して SAP Concur SAML v2 SSO（SAML v2）に移行するお客様を支援しています。

2020 年の第 3 四半期に、SAP Concur は、お客様管理者が SAP Concur サポート担当者を介さずに SAML v2 接続をセットアップできるセルフサービス ツールを提供予定です。

NOTE: SAML v2 は、複数の ID プロバイダ（IdP）の使用をサポートしています。

HMAC の廃止プロセスは 2 段階あります。

フェーズ I:

- お客様には、アイデンティティ プロバイダ（IdP）またはカスタム SAML 2.0 準拠のソリューションが必要です。
- お客様は SAML v2 を使用して認証のテストを開始します。
- TMC は、新規の SAP Concur のお客様に対し SAML v2 の導入準備をします。
- SSO セルフサービス ツールが利用可能になった後、HMAC の公式のサポート廃止日をリリース ノートで通知します。正式な廃止日以降、新規のお客様への導入に際し HMAC は使用できません。新規のお客様は SAML v2 を導入する必要があります。
- HMAC を使用している既存のお客様は、SAML v2 に移行する必要があります。

フェーズ II:

- TMC は、既存のすべての SAP Concur をお使いのお客様を HMAC サービスか ら SAML v2 に移行完了しました。
- HMAC サービスは廃止されています。フェーズ Ⅱ は 2021 年半ばに終了する予定です。

業務目的とユーザーへの利点

この変更により、SAP Concur の製品およびサービスにログインするユーザーに強化されたセキュリティおよび改善されたサポートを提供します。

設定とアクティブ化

TMC の移行

TMC は大きな影響を受けるため、SAML v2 への移行に備えて今すぐテストを開始する必要があります。

TMC は、新規のお客様に対して HMAC ではなく SAML v2 を設定する必要があります。SAML v2 を設定すると、TMC が SAML v2 をテストし、内部スタッフをトレーニングしてお客様を支援する時間をさらに確保できます。

HMAC 廃止プロセスのフェーズ I の準備:

- TMC は SAML 2.0 準拠の SSO をサポートする必要があります。TMC は SAML 2.0 準拠のソリューションを契約または開発する必要があります。TMC にはアイデンティティ プロバイダ（IdP）が必要です。
- SAML 2.0 準拠の SSO のサポートが完了した後に、さらに情報が必要な TMC は SAP Concur サポートに支援を依頼できます。TMC は、設定の依頼の際にオンライン注文フォームを使用する必要はありません。

従来の HMAC をお使いのお客様の移行

お客様は、移行の準備のためにすぐに SAML v2 のテストを開始する必要があります。

HMAC 廃止プロセスのフェーズ I の準備:

- お客様には、アイデンティティ プロバイダ（IdP）またはカスタム SAML 2.0 準拠のソリューションが必要です。
- お客様は、SAP Concur サポートと調整して、SAML v2 への移行を完了することができます。
- リリースされると、お客様は SSO セルフサービス ツールを設定できます。セルフサービス ツールは、2020 年の第 3 四半期にリリース予定です。

📖 詳しい情報は、製品共通の変更予定のリリース ノート（日本語）の「認証 | ** 変更予定 ** シングル サインオン (SSO) セルフサービス オプションの提供」および「SSO Service: Overview Guide」および「Shared: SSO Management Setup Guide」をご参照ください。

ファイル転送のアップデート

** 進行中 ** SAP Concur 従来のファイル移動の移行

情報の初回公開日	最終更新日	機能のリリース予定日
2020 年 3 月 6 日	--	2020 年に進行中

概要

このリリース ノートは、SAP Concur でのファイル送信を担当する技術スタッフを対象としています。データのやり取りを行っているお客様と支払先に対し、SAP Concur はファイル転送サブシステムを維持して、ファイル転送のセキュリティを強化しています。

SAP Concur は、API に依存するより効率的で安全なファイル ルーティング プロセスにファイルを移動するために現在従来のプロセスを使用しているエンティティの移行を開始します。

現在、従来のプロセスを使用するようにエンティティを設定しているお客様は、現時点から 2020 年の終わりまでの間に、より効率的なプロセスに移行されます。より効率的なプロセスに移行すると、次のような改善が見られます。

- 従来のプロセスでは、指定された時間にファイル移動スケジュールが実行されるのを待つ必要がありました。より効率的で安全な API ベースのプロセスにより、SAP Concur からの抽出およびその他の送信ファイルは、ファイルが作成された直後の既存の夜間処理期間内に利用可能になります。

このお知らせは、次のファイル転送 DNS エンドポイントに関するものです。

- st.concursolutions.com

業務目的とユーザーへの利点

これらの変更により、ファイル転送のセキュリティと効率が向上します。

設定とアクティブ化

支援が必要な場合は、SAP Concur サポートまでお問い合わせください。

さらに詳しい情報は、ユーザー ガイド「File Transfer for Customers and Vendors（製品共通）」をご参照ください。

イメージング

Imaging XML API エラー更新

情報の初回公開日	最終更新日	機能のリリース予定日
2019 年 9 月	2020 年 7 月 17 日	2020 年 7 月
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。		

概要

SAP は、2 つのエラー コードを明確にするため Imaging XML API を更新しています。現在、API が XML 応答でエラー 500 を返した場合でも、サービスは HTTP 200 コードを返します。この更新プログラムは HTTP エラー コードを修正し、API 応答に 500 エラー コードが含まれている場合は HTTP 500 を返します。また、HTTP 503 エラー コードとの混乱を避けるために、Imaging 応答エラー コード 503（ストレージが利用できません）はエラー コード 122 に変更されます。

Imaging XML API は、Imaging v1.0 または v3.0 API とは別のものであり、ごく少数のお客様がご使用されています。SAP は、この変更の調整のため、ご使用されているお客様に個別にご連絡しています。

業務目的とユーザーへの利点

この更新プログラムにより、Imaging XML API の監視の向上をサポートします。

設定およびアクティブ化

この更新は、2020 年 6 月に提供予定です。この変更の影響を受けるお客様には SAP からご連絡しております。

リスト インポート

リスト インポートの開始日と終了日が保存されなくなります

概要

7 月のリリース以降、concur-standard.xml または concur-standard-71.xml インポート定義ファイルに含まれている開始日と終了日の情報が、SAP Concur ソリューションで保存されなくなります。

NOTE: この変更に合わせて、インポート定義ファイルを更新する必要はありません。定義ファイルの開始日と終了日の情報は保存されませんが、ファイル内の他のデータのインポート中に問題が発生することはありません。

業務目的とユーザーへの利点

開始日と終了日の情報は、SAP Concur ソリューションでは参照または使用されないため、保存する必要はありません。

設定とアクティブ化

構成やアクティブ化のステップはありません。この変更は自動的に行われます。

その他

SAMLv2 SSO 証明書の有効期限切れ（6 月 25 日）

概要

SAP Concur SAMLv2 サービスから提供される、IdP とのシングル サインオン（SSO）接続を確立するために使用する証明書は、**2020 年 6 月 25 日に有効期限切れになりました**。新しい証明書を更新して利用できます。有効期限切れの証明書が更新されない場合、ユーザーは SAP Concur 製品に正常にサインインできない場合があります。

SAP Concur ソリューションは SSO を提供し、ユーザーのサインイン プロセスをより簡単かつ安全なものにします。SSO では、アイデンティティ プロバイダ（IdP）とサービス プロバイダ（SP）の間で信頼関係が確立されている必要があります。この信頼関係は、サービス プロバイダ（この場合は SAP Concur ソリューション）が提供する証明書を暗号化して使用することによって部分的に確立されます。

業務目的とユーザーへの利点

SSO 証明書が最新のセキュリティ標準およびプロセスに準拠していることを確認するために、証明書には有効期限があり、定期的に更新されるように設定されています。

設定とアクティブ化

期限切れの SSO 証明書によってユーザーが SAP Concur ソリューションに接続できなくなる点についての詳細、および証明書を更新する手順については、「SAP Concur SAMLv2 SSO Certificate Expiration Fact Sheet」をご参照ください。

更新: 一部の TLSv1.2 暗号が非サポートに（6 月 22 日）

概要

2020 年 6 月 22 日、SAP Concur ソリューションは、次の TLSv1.2 暗号を使用する *.concursolutions.com および *api.concursolutions.com への接続のサポートを削除しました。

- AES256-GCM-SHA384
- AES128-GCM-SHA256

お客様のご要望にお応えして、これらの暗号のサポートが 6 月 25 日に復元されました。

設定とアクティブ化

構成やアクティブ化のステップはありません。この変更は自動的に行われます。

新 UI

** 進行中 ** Concur Expense エンド ユーザー向けの最新のユーザー インターフェース (UI)

情報の初回公開日	最終更新日	機能のリリース予定日
2018 年 3 月	2020 年 6 月 5 日	未定
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。		

概要

Concur Expense ソリューションのユーザー インターフェースは、考え抜かれた設計と調査によって継続的な進化を遂げており、経費精算レポートの作成と送信において時代に合った直感的で合理的な操作性を提供しています。

Concur Expense をお使いのお客様は、プレビュー後の必須の移行前に、新 UI を使用開始することができます。

業務目的とユーザーへの利点

これにより、新 Expense のユーザー インターフェースに、最新で一貫性のある合理的なユーザー操作を提供しています。このテクノロジにより、改善されたユーザー インターフェースの提供にとどまらず、お客様の変更のご要望にさらに迅速にお応えすることができます。

影響を受ける製品およびユーザー

これらの改善を活用するため、Concur Expense ユーザーは Concur Expense の新 UI へ移行する必要があります。以下は、この処理をすべてのユーザーにスムーズかつ効率的にご利用いただくためのスケジュールおよびリソースの情報です。

これらの UI （ユーザー インターフェース）の変更は以下に適用されます。

- すべての Expense のエディション（Professional / Premium および Standard）
- エンド ユーザー（承認者、処理者、または管理者に変更はありません）

重要: スケジュールとマイルストーン

既存の UI から新 UI に移行するにあたり、Concur Expense をお使いのお客様には 3 つの重要なマイルストーンがあります。

- **2020 年 7 月 1 日、早期アクセス期間終了:** 期間中、最新の UI がプレビュー用として世界中のお客様に提供されていました。管理者 / パワー ユーザーは、早期アクセス期間を利用して、最新のインターフェースをプレビューして、内部トレーニング資料を更新し、移行に向けて組織として準備することをお勧めしておりました。
- **2020 年 7 月 1 日現在、オプトイン期間中:** 早期アクセス期間に続いて、利用可能なオプトイン期間があります。このマイルストーンは、計画されているほぼすべて機能、および全体的な品質と安定性を提供するためのものです。

お客様は、この期間を活用して移行を計画し、ビジネスのプライオリティ上適している場合は、Concur Expense の新 UI に移行してください。残りの機能の一部はこの期間中に利用可能になるため、お客様はそれに応じてロールアウトを計画する必要があります。

NOTE: オプトイン期間中、既存の UI にて計画されている Concur Expense 機能のすべてが新 UI で使用できるわけではありません。

- **Concur Expense をお使いのお客様の新 Expense への必須移行: すべてのお客様が新 UI へ移行する必要があります**。これは、当社がすべてのお客様に対し一貫性のあるユーザー操作およびより良い製品への改革やサポートを継続して提供することを保証します。その他のお客様の自動移行の日付はまだ設定されていません。お客様は、日付が発表されてから移行を完了するまで、少なくとも 12 か月の猶予があります。

  お客様は、組織のスムーズな移行を確実にするために必要なタスクを完了し、オプトイン期間中に移行することをお勧めします。

移行資料 - ガイドおよびその他のリソース

当社はこの移行をサポートするために、複数のガイド、FAQ、リリース ノート、およびその他のリソースを準備しています。組織の移行の開始に必要なすべての情報については、以下よりご確認ください。

- Professional Edition
- Standard Edition

上記のリンクは以下へのアクセスを含んでいます。

- **管理者ガイド、FAQ、移行リソース:** 管理者ガイドは Concur Expense の新 UI へのアクセス、および必要なロールやアクセス許可についての情報を提供します。

  管理者ガイドに加え、FAQ、その他のリソース（メール テンプレートおよびその他のトレーニング資料など）、および Concur Expense の新 UI でまだ利用可能ではない機能のリストもあります。これらは、お客様のユーザー向けに準備する際に便利です。

NOTE: トレーニングのために、管理者ガイドおよびエンド ユーザー ガイドを「そのまま」使用できます。または、トレーニング資料を作成する際にその一部を使用できます。お客様はご自由に、切り取り、コピー、貼り付け、削除、または編集が可能です。

- **エンド ユーザー ガイド:** このガイドは既存の UI と Concur Expense の新 UI を比較し、ユーザーが新しい操作に親しむために役立ちます。新 UI は改善中のため、このガイドはオプトイン期間中に必要に応じて更新されます。管理者はこのガイドを頻繁にご確認ください。

NOTE: 管理者ガイドのように、組織内でこのガイドの切り取り、コピー、貼り付け、削除、または編集を自由に行っていただけます。

- **リリース情報:** オプトイン期間中、改善に関するリリースは定期リリース スケジュールに**含まれません**。代わりに、特別なリリース ノートを発行し、機能および改善についての情報を近々のリリースで提供予定です。

ご利用の前に

上記の移行資料をご確認の上、移行の計画を立てることをお勧めします。

詳細情報

詳しくは今後のリリース ノートでご案内します。

今後の変更予定

このセクションの項目は、今後のリリースを予定しています。SAP Concur は、ここに記載されている拡張機能/変更の実装の延期または完全削除の権利を保有するものとします。

! **重要:** これらの変更予定は、この SAP Concur 製品またはサービスに影響を与える今後の拡張および変更のすべてが記載されていない場合があります。複数の SAP Concur 製品やサービスに適用される変更予定は、統合ドキュメントに記載されています。製品共通の変更予定のリリース ノート（日本語）で、利用可能なその他の変更予定をご確認ください。

財務統合

** 変更予定 ** SAP 統合と Concur ソリューション（ICS）の差分転記の追加

概要

SAP Concur は、以前転記された経費精算レポートの差分転記ができるように、SAP 統合と Concur ソリューション（ICS）を更新しています。最初の機能セットでは、エンド ユーザーは転記された経費精算レポートを撤回することができます。最初のリリースでは、エンド ユーザーは経費精算レポートのカスタム フィールド（レポート ヘッダー、エントリ、明細、および配賦レベル）のみを変更してから、再提出できます。再提出された経費精算レポートは再び承認ワークフローを通過し、承認されると SAP ERP に再転記されます。

この機能は、Concur Expense の新 UI をお使いのお客様が、次の SAP ERP の ICS を使用して利用できます。

- SAP ECC
- SAP S/4HANA
- SAP S/4HANA クラウド

業務目的とユーザーへの利点

この機能を使用すると、エンド ユーザーは一時的な原価対象情報を含む経費精算レポートを提出し、払い戻しを遅らせることなく後で更新できます。

設定およびアクティブ化

この機能は、2020 年第 3 四半期を対象としており、Concur Expense Professional Edition の新 UI および ICS をお使いのすべてのお客様を対象としています。この機能は Expense のグループ構成で有効になります。この機能は SAP Concur Mobile アプリではご利用いただけません。

お客様へのお知らせ

ブラウザの認証および推奨環境

月次情報 - ブラウザの認証および推奨環境

「SAP Concur リリース ノート - 月次のブラウザ認証」ドキュメントには現在のブラウザ認証と今後の予定がリストされています。ドキュメントはその他の月次リリース ノートとともに公開されます。

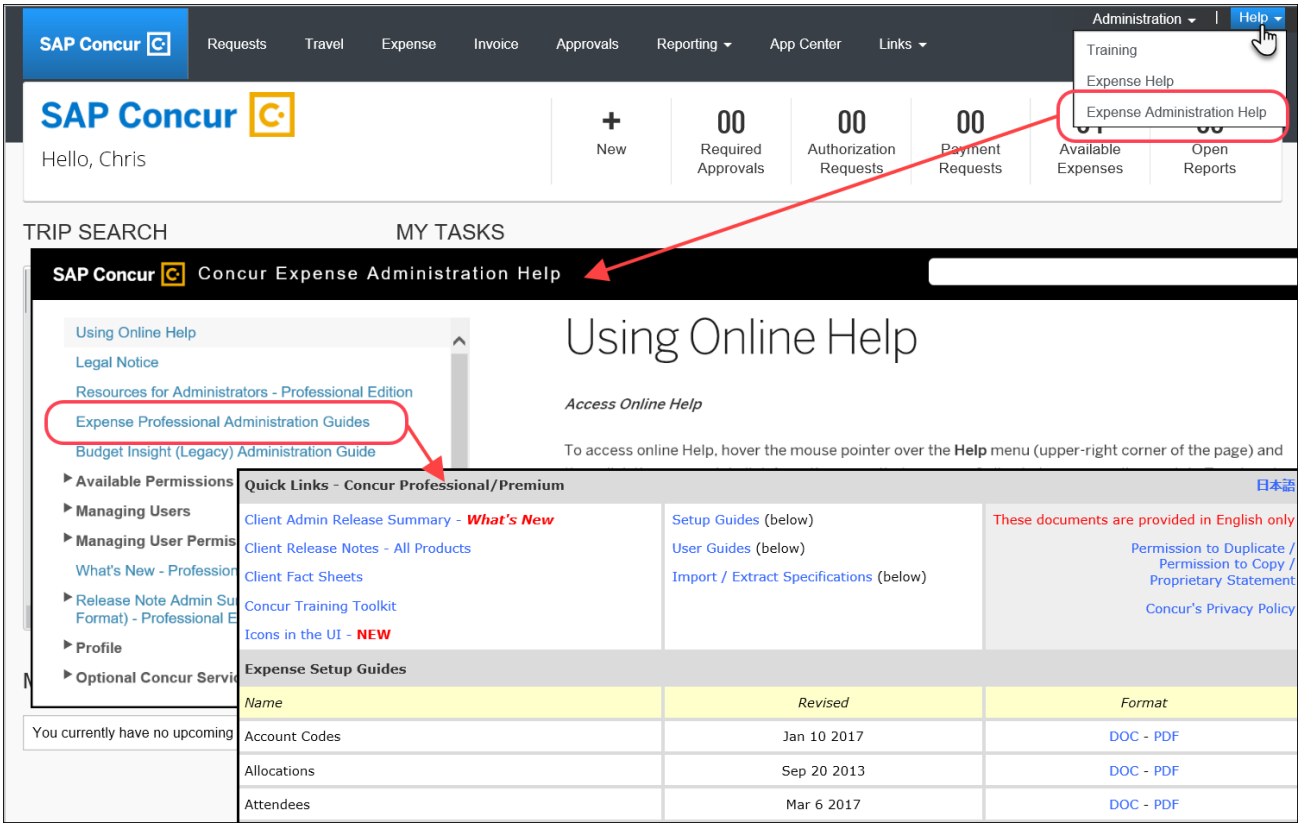
「お客様へ - Concur Travel & Expense 推奨環境」ガイドは設定ガイドやユーザー ガイド、その他の技術文書とともに公開されています。

📖 すべてのリリース ノート、ブラウザ認証、設定ガイド、ユーザー ガイド、その他の技術文書、および推奨環境については、後述の「リリース ノートおよびその他の技術文書」をお読みください。

リリース ノートおよびその他の技術文書

オンライン ヘルプ - 管理者

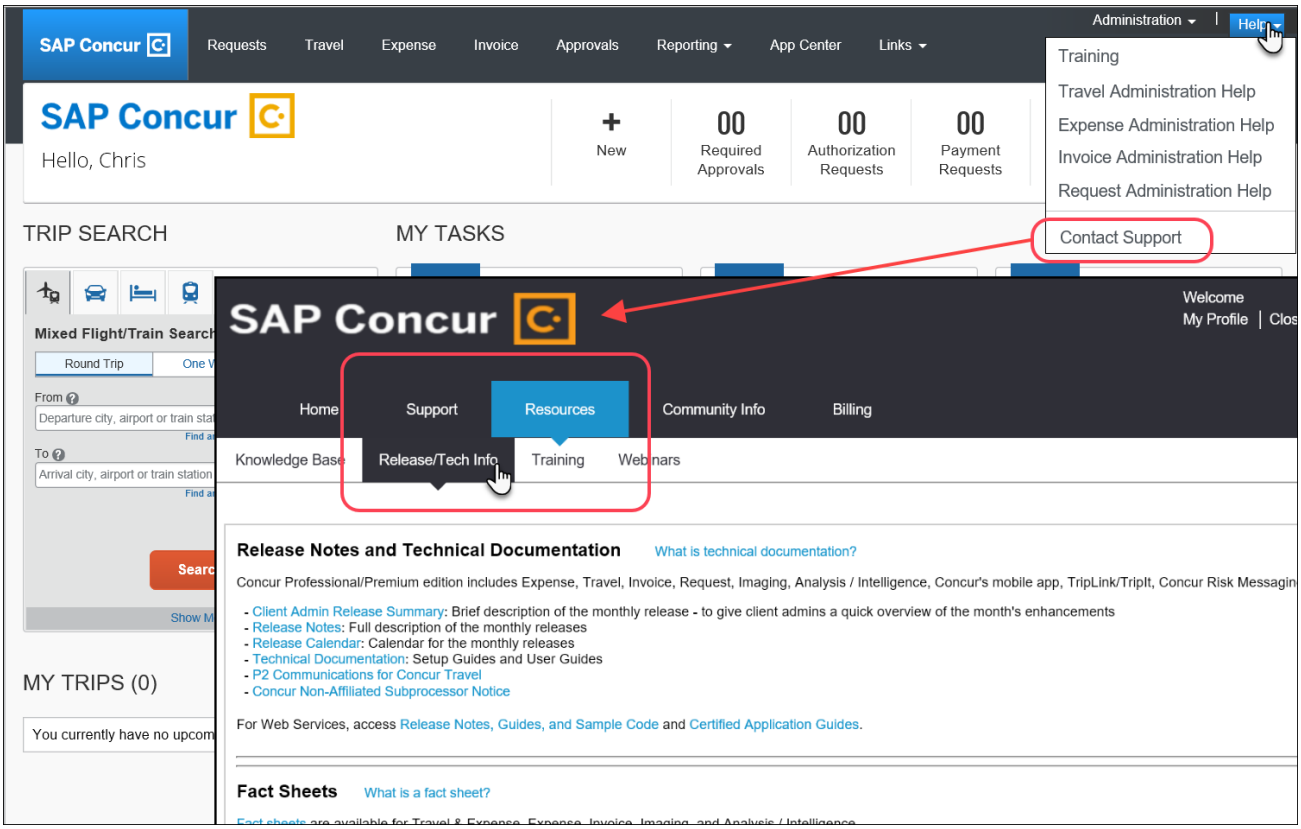
管理者ロールを持つユーザーは、オンライン ヘルプを使ってリリース ノート、設定ガイド、ユーザー ガイド、管理者向けのサマリー、月次のブラウザ認証、推奨環境、およびその他のリソースにアクセスできます。



Concur サポート ポータル - – 指定されたユーザー

指定されたユーザーは SAP Concur サポート ポータルを経由して、リリース ノート、設定ガイド、ユーザー ガイド、管理者向けのサマリー、月次のブラウザ認証、推奨環境、およびその他のリソースにアクセスすることができます。

適切な SAP Concur サポート ポータルへのアクセス許可があれば、**[ヘルプ]** メニューに **[サポートへのお問合せ]** オプションが表示されます。**[ヘルプ] > [サポートへのお問い合わせ]** をクリックします。[サポート] ページで、**[リソース] > [リリース / 技術情報]** をクリックしてください。



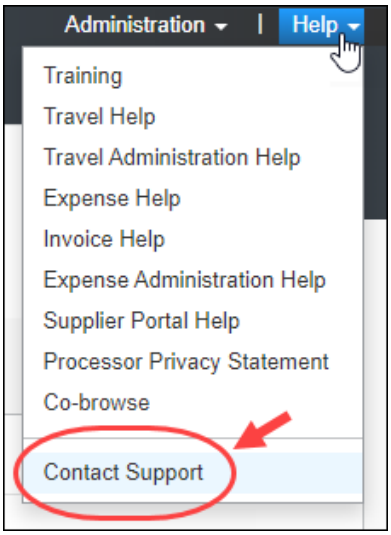
ケース

サポート ケース ステータスの確認

この手順内のステップに従って、ケースが解決しているかどうかを確認してください。

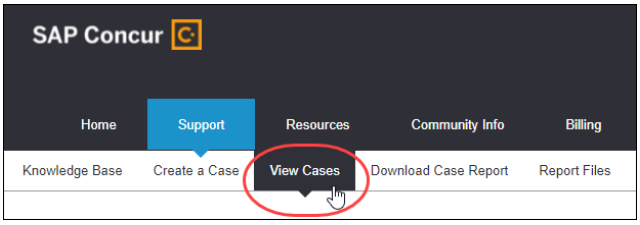
提出したケースのステータスを確認する方法

1. https://concursolutions.com/portal.asp にログオンします。
2. **[ヘルプ] > [サポートへのお問い合わせ]** をクリックします。

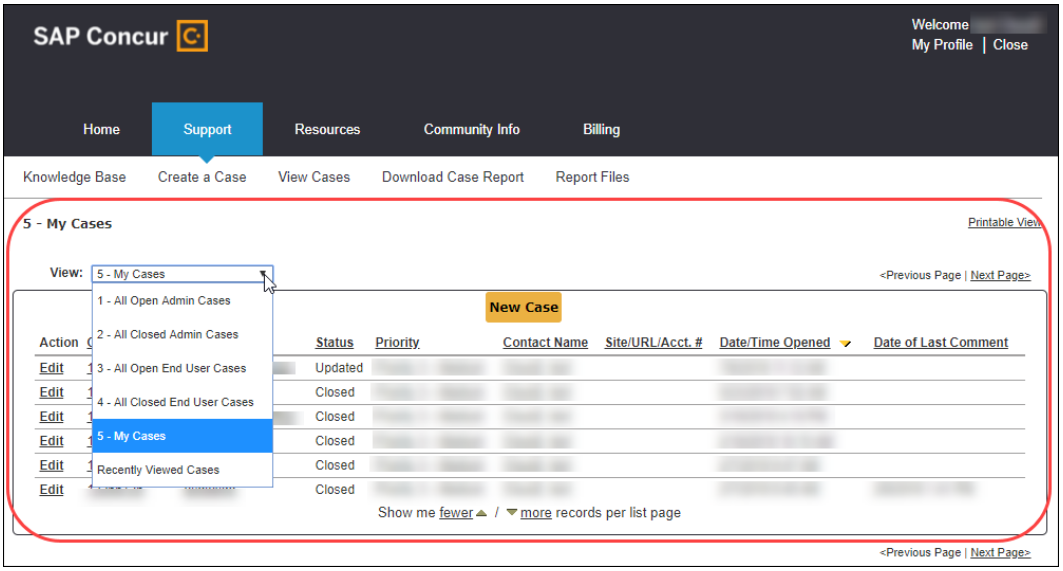


NOTE: **[ヘルプ]** メニュー下に [SAP Concur サポートへのお問合せ] オプションがない場合は、お客様の会社内でサポートを行うよう設定されています。社内のサポート デスクにお問い合わせください。

3. **[サポート] > [ケースを表示]** をクリックします。



4. 表で、**[表示]** リストの選択に基づいて、目的のケースのタイプを表示します。検索結果は、ご自身の会社のケースに限定されています。



例

このリリースの（ケース）修正には、以下のケース以外の修正も含まれます。

ケース ID	説明
11673115	**スマート経費** 手動エントリとスマート経費間の一致が承認された場合、同席者が削除されていました。 コードを更新し、この問題は再現しなくなりました。

© 2020 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE または SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製または伝送することはできません。

本書に記載される SAP およびその他の SAP 製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツおよびその他の国における SAP SE（または SAP の関連会社）の商標または登録商標です。商標に関する詳細や通知については、http://global12.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx をご覧ください。

SAP SE およびその流通業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、ほかのソフトウェア業者の専有ソフトウェア コンポーネントが含まれています。

製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明または保証はなく、情報提供のみを目的として、SAP SE または SAP の関連会社によって提供され、SAP SE またはその関連会社はこれら文書に関する誤記や脱落に対する責任を負うものではありません。SAP SE または SAP の関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE またはその関連会社は、このドキュメントまたは関連の提示物に記載される業務を遂行する、またはそこに記述される機能を開発もしくはリリースする義務を負いません。このドキュメント、または関連の提示物、および SAP SE またはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、および / またはプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE またはその関連会社により随時、理由の如何を問わずに予告なしで変更される場合があります。このドキュメントに記載する情報は、何らかの具体物、コード、または機能を提供するという確約、約束、または法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なる

ものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。